

労働安全衛生ニュース No.3(2015年5月26日号)

発行：フード連合(労働局)

フード連合内緊急重大災害発生状況報告集計結果について(2014年9月～2015年5月)

各単組から2014年9月～2015年4月の間に報告のあった「緊急重大災害」についてご報告します。報告のあった13件のうち、災害内容は以下の通りです。

(件)

	墜落・転落	転倒	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	高温・低温物との接触	交通事故	その他	合計
2015年	1	1	2			7	1		1	13
(参考)2014年						4	1			5
(参考)2013年		2				5			2	9

昨年、一昨年よりも全体件数は増加しています。報告忘れはありませんか？情報共有、再発防止のために、労災発生後は速やかにフード連合への報告をお願いします。

また、今回報告のあった13件のうち半数以上の7件が「はさまれ・巻き込まれ」によるものです。経年で比較した場合も、「はさまれ・巻き込まれ」が型別にみた労災発生件数でトップになっています。

以下、災害事例(①場所②作業内容③発生状況④災害の状態)と組合・安全委員会等の対応を紹介します。

(事例) 2015年1月13日 39歳・男性 勤続15年

- ① ガム製造ライン 原料粉砕機
- ② 粉砕ロールへの原料投入作業時
- ③ 自動運転から手動運転に切り替え、安全カバーを開き、原料を供給中に手を粉砕ロールに巻き込まれた
- ④ 右手第3.4.5指複雑骨折(手術にて切断)、入院10日～14日、通院一か月見込み
- ⑤ 組合・安全委員会等の対応
 - ・1月14日 臨時事業所安全衛生委員会開催
 - ・1月15日 中央執行委員会にて労災発生状況を共有



●労災前後に労使でしっかりとチェック

平成25年に安全衛生規則が改正され、食品加工用機械について規定が追加されています。その内容を把握し、実際に事業所で実施していますか？また、新規雇い入れ時や作業内容の変更時においては安全衛生教育が徹底されていますか？上記事例に関しては、労災発生翌日に安全衛生委員会にて労使で情報共有がされています。安全に関する責務は事業者に義務付けられているものですが、労使が協力し合い、労働者の安全を守るため立場を超えた議論をしていきましょう。

